

ロボット活用による職場処遇改善コンサルティング支援事業の概要

事業内容

国の緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用した地域人づくり事業のひとつとして、介護事業所へのコンサルティングを基に、ロボットスーツ HAL（腰補助モデル）の活用を中心とした職場改善プログラムを実施し、腰への負担軽減や腰痛防止を通じた離職率の低減（定着率の向上）による職場の処遇改善を図ることでヘルスケアロボットの普及を目指す。

施設数

県内の介護施設 30ヶ所（6月から順次実施）

ロボットスーツ HAL（腰補助モデル）導入台数

100台（施設への導入90台（各3台）、研修用等10台）

予算

約119,000千円

受託事業者

湘南ロボケアセンター株式会社

（藤沢市辻堂神台2-2-1 アイクロス4階）

導入発表イベント

日時 平成27年6月12日（金） 14:20～14:50

場所 特別養護老人ホーム 芙蓉苑
（横浜市港南区下永谷4-21-10、電話(045)822-5911）

出席者 神奈川県知事 黒岩 祐治
湘南ロボケアセンター(株) 代表取締役社長 久野 孝稔（本事業の受託会社）
社会福祉法人 同塵会(特別養護老人ホーム芙蓉苑)理事長 松井 住仁

